

中学部3年 Aグループ 国語科 学習指導案

日 時 令和6年 11 月 27 日(水)

3校時 10:30～11:20

場 所 中学部3年 A組教室

指導者 阿部 哲哉 (T1)

1 単元名 「稲陽電鉄－私の行きたい街－

たくさんの「かざり言葉」で読んだ人が「行きたい！」と思う文章を考えよう！」

2 単元目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
修飾と被修飾との関係を答えたり、形容詞などを中心に新しく覚えた語句を活用したりする。	行きたい都道府県の特徴や場所について、友達に内容が伝わるように、文章の構成や語句を吟味してパンフレットを制作する。	言葉がもつよさや文章表現を工夫する楽しさを実感し、パンフレット制作や発表のやりとりに進んで取り組もうとする。

【指導する内容】 中学部国語 2 段階 ア (エ) (オ) B オ

3 目標に対する評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・パンフレット内にある修飾語と被修飾語を見付けている。 ・「言葉の宝箱」を参考に文章を書いている。	・友達にパンフレットの内容が伝わるように、形容詞などの語句を工夫して文章を書いている。	・どうすれば行きたい街の魅力が伝わるか試行錯誤しながら文章を書こうとする。 ・進んで感想を伝えたり、質問に答えたりしようとする。

4 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは男子3名で構成されている。話の聞き方などの学習態度に個人差があるものの、授業に積極的に参加する。一方で、間違えることや他人との比較に不安を感じ、自分の意見や感想が伝えられずに消極的になったり、不安定になり学習に参加できなかつたりすることがある。

現在、中学部1～2段階の学習内容に取り組んでいるが、国語3領域の実態を見ると、個人内差の差が大きい。「書く」領域では、書字への抵抗やこだわり、文章構成でのつまずきなどで全員が苦手意識をもち、文章を推敲することにも抵抗がある。しかし、ワークシートの工夫やタブレット端末の活用を通して、負担感なく取り組めるようになってきている。「聞く・話す」領域では、3名とも表現力が豊かで、一方通行になるときもあるが、自分の興味があることを中心に積極的に教師や友達と会話を楽しんでいる。

このような実態を受けて、国語科の指導では「伝わること」の楽しさを実感できるように、一文における主述の関係や修飾語の役割についてクイズ形式で学習したり、校外学習や修学旅行の内容について、読み手を意識して出来事を順序立てて書いたりする学習をした。学習の成果を廊下掲示し、掲示物を見た教師や他の友達から肯定的な評価をもらうことで、文章で書き表すことに自信をもてるようになってきた。

(2) 単元について

本単元は、自分が行きたい都道府県を一つ決め、その魅力や友達にすすめたい場所等についてパンフレットを制作し紹介する活動である。前単元では修学旅行で訪れた観光地について紹介する作文を書いた。今回はその発展として、3名の生徒同士で経験を共有していないが、それぞれが興味関心をもつ場所の魅力を、既習の内容を用いてどのように分かりやすく伝えるか考えていく。

「行ってみたい」という強い興味・関心が試行錯誤しながら文章を推敲する土台になり、パンフレットを見た人が行きたくなるように、様々な形容詞等の語句を意識しながら書くことができると考えた。また、友達の立場や思いを考えられるように、「行きたい都道府県」と「友達の好きなこと」を関連付けて調べた内容をパンフレットで紹介する活動も設定した。

本単元を通して実感した、友達に伝わるように自分の思いや考えを表現することの大切さと楽しさは、今後の生活でも生かしていくことができるのではないかと考える。

(3) 指導にあたって

<知識及び技能>

- ・修飾語がどの語句に掛かっているか見付けることができるように、「掛かる」を「ヒットする」という生徒が想起しやすい言葉に置き換える。
- ・いろいろな語句を積極的に活用することができるように、「気持ちを表す言葉」や「状態を表す言葉」などの形容詞等の語句をまとめたプリントを準備する。また、授業の導入で毎時、新出語句を使った文章作りに取り組む時間を設定する。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・読み手を意識して、読みやすさやおもしろさを工夫した文章を書くことができるように、下書きを2段階に分けて行ったり、観光地等の特徴を表した文章をインターネットから収集する時間を設定したりする。
- ・書字への苦手意識を軽減するために、パンフレットはタブレット端末の文書作成ソフト(Pages)で制作する。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・パンフレット制作や紹介が意欲的にできるように、完成したパンフレットを掲示したり配付したりする。
- ・パンフレットを紹介するやりとりを楽しんだり、話を聞く要点をつかんだりすることができるように、友達のパンフレット紹介の聞くポイントなどを事前に決めておく。
- ・興味をもって友達の発表を聞き、感想を伝えられるように、紹介する都道府県と友達の好きなことを関連付けて調べる「友達コラボ」というページを設定する。

4 指導と評価の計画 (総時数 13 時間)・・・本時 12/13

時数	めあて・学習活動	評価規準	評価方法
2	自分が紹介する都道府県を決めよう! ・教育版「桃太郎電鉄」をする。 ・自分が紹介する都道府県を決める。	・各都道府県の特産や観光地などを調べながら、自分の行きたい都道府県を決めている。(知・技)	プリント

4	おすすめポイントをまとめよう ・おすすめする観光地等を調べて、プリントにまとめる。 ・教科書「日本を旅して」から説明的文章や紹介文の要点を知る。	・修飾と被修飾の関係に気を付けたり、説明的文章の要点を押さえたりしながら、文章を書く。(知・技) ・読み手のことを考えて、形容詞などの様々な語句を適切に取り入れながら、工夫して文章を書いている。(思・判・表)	プリント
3	友達コラボについて調べよう ・紹介する都道府県における友達の好きな内容について調べる。	・友達の好きなことを知り、自分の行きたい都道府県とのつながりを調べて、友達に伝わりやすいような文章を書いている。(思・判・表)	調べ学習 プリント
3	パンフレットを紹介しよう ・制作したパンフレットを紹介する。 ・友達の文章を聞いて、修飾と被修飾の関係を見付けたり、感想を述べたりする。	・友達に伝わりやすいように、ゆっくりはっきり発表している。(思・判・表) ・友達が書いたパンフレットの文章から、修飾と被修飾の関係や特徴的な形容詞などを見付け、発表している。(知・技) ・友達の発表を聞いて、楽しかったことや良かった点を友達に伝えている。(思・判・表)	発表 発言
1	振り返ろう ・今回の学習でまとめたことを振り返る。	・本単元を通して学んだ語句の意味や活用例などを考えている。(知・技) ・「説明的文章」や「修飾と被修飾の関係」の要点を答えている。(知・技)	プリント 発言

5 本時の計画

(1) 目標

- ・観光地等を紹介する文において、修飾と被修飾の関係や観光地等の特徴を表す形容詞を読み取ったり、他の語句を使った表現の仕方を考えたりする。(知・技)(思・判・表)

(2) 本時で指導する内容

中学部国語 1 段階 A オ 2 段階ア (オ)

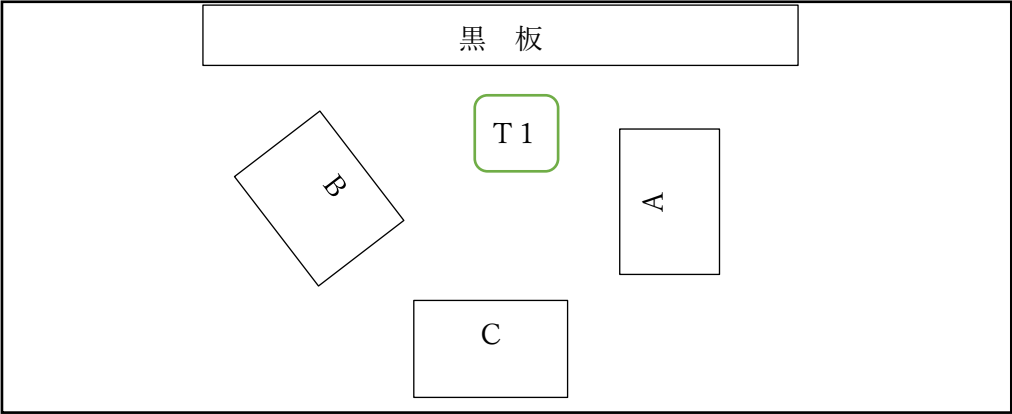
(3) 本単元にかかる生徒の実態と本時の目標

名前	本単元にかかる 生徒の実態	本時の目標
		本時の目標を達成するための手立て
A (男) (読み手)	・書字にこだわりがあり、時間が掛かる。 ・語彙が豊富で、自分の興味があることについて表現豊かに伝えられる。 ・全体の指示を聞くことを苦手とし、取り掛かりが遅れることがある。 ・修飾と被修飾の関係や、説明的文章における要点を理解しているが、質問に的確に答えることには時間が掛かる。	・自分のパンフレットにある修飾と被修飾の関係や特徴的な形容詞を把握し、友達が読み取ったことが正しいかどうかを判断する。(知・技)(思・判・表) ・友達の解答が合っているか悩んだときは、既習のプリントで確認することを事前に伝える。
B (男) (聞き手)	・誤字脱字が多く、書字に苦手意識があるが、丁寧に書くようになってきた。 ・自分の好きなことを中心に教師や友達との会話をするが、伝えたい思いが強くなり、一方通行になるときがある。 ・話を聞いたり発表したりする態度に課題があ	・パンフレットの文章から、修飾と被修飾の関係や観光地等の特徴を表す形容詞などの語句を見付けて伝える。(知・技)(思・判・表) ・間違える不安感を減らし、質問内容にじっくり向き合えるように、個別に考える時間を設定する。

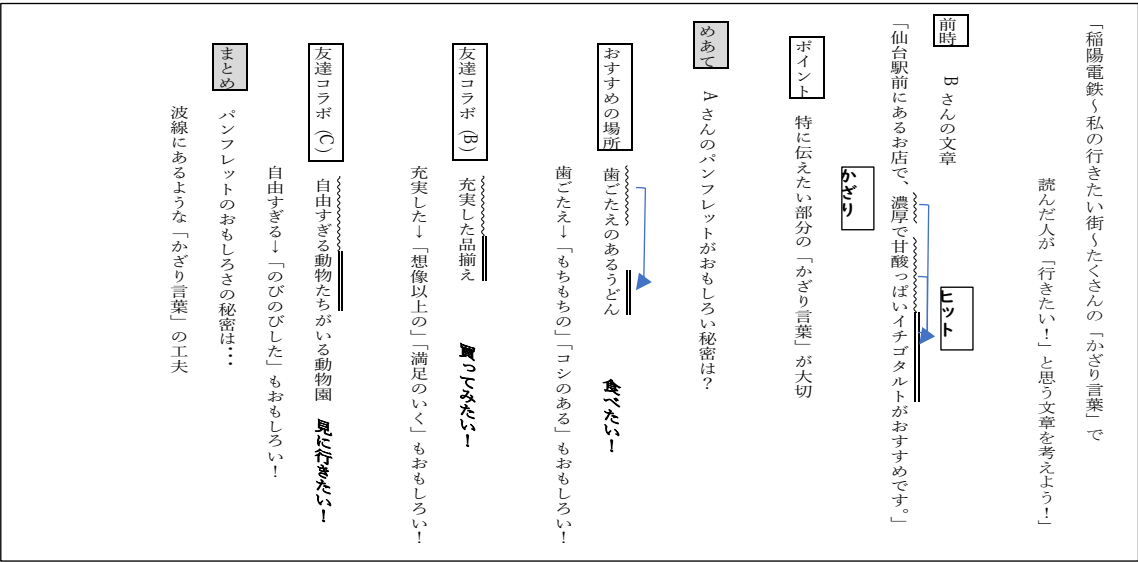
	るものの、教師や友達の話をよく聞き、自分の感想を積極的に伝える。 ・修飾と被修飾の関係や、説明的文章における要点は徐々に理解してきているが、文章で表したり、質問に答えたりすることは苦手としている。	
C (男) (聞き手)	・間違えることを怖がり、時間を掛けて書字する。 ・自分の好きなことを中心に教師や友達との会話をするが、伝えたい思いが強くなり、一方通行になるときがある。 ・教師や友達の話をよく聞き、進んで発表したり、質問に答えたりする。 ・修飾と被修飾の関係や、説明的文章における要点を理解してきており、質問に正確に答えられるようになってきた。	・パンフレットにある観光地等の特徴を表す形容詞などの語句を見付けたり、類義語を考え発表したりする。 (知・技) (思・判・表) ・いろいろな語句を積極的に活用することができるよう、「気持ちを表す言葉」や「状態を表す言葉」などの形容詞等の語句をまとめたプリントを見るように促す。 ・友達の行きたい場所を具体的に想起し、感想を詳しく発表することができるように、その場所の画像などを提示する。

(4) 展開 (次頁参照)

(5) 配置図 (展開場面)



(6) 板書計画



(4) 展開

時間 (分)	○学習活動 めあて及びまとめ T：発問 S（または実際の生徒 A～C）：引き出したい生徒の反応	◇反応を引き出すための手立て及び留意点 ◎準備物 ◆評価(観点／評価方法)
10	(1) ウォーミングアップ「即興文章」（新出語句を使った文章作り）をする。	◎プリント
8	(2) 本時の学習課題と学習内容を確認する。 A さんのパンフレットが面白い秘密は？	◎タブレット端末、TV
20	T：今日は A さんのパンフレット紹介です。前時までの二人のパンフレットもおもしろくて、その場所に行きたくなりましたが、どんな文章があったか見ていきます。 S：「甘酸っぱい」や「濃厚」が「かざり言葉」でした。 T：そうです。他の文章でも、二人が特に伝えたい部分を「かざり言葉」で上手に表していました。今回も A さんが特に伝えたい部分がどのように飾られているか注目していきましょう。 (3) A が作成したパンフレットを読み、文の構成について考えを深める。 ①A がパンフレット紹介（おススメの場所）をする。 T：話を聞くときは、めあてを考えながら聞きましょう。 ②B と C が感想を発表する。 ③学習課題について考える。 T：感想を伝え合うことができました。それでは特徴的な「かざり言葉」を見付けていきます。まずは文章の中から「かざり言葉」に丸をします。時間は 1 分です。もし早く見付けた場合は、代わりになる「かざり言葉」を考えましょう。 (1 分後) それでは見付けた「かざり言葉」を発表してください。 B：「歯ごたえのあるうどん」の「歯ごたえのある」です。 T：どうですか？ A：合っています。 T：合っていますね。それでは、「歯ごたえのある」はどこにヒット（修飾）していますか？ C：「うどん」です。 A：合っています。 T：いいですね。ただの「うどん」と「歯ごたえのあるうどん」だとどちらがおいしそうに感じますか。	◇前時の学習内容を思い出すことができるように、前時に扱った文章を掲示する。 (例「仙台駅前にあるお店で、濃厚で甘酸っぱいイチゴタルトがおすすめてです。」) ◇めあてを意識して学習できるように、「かざり言葉」の重要性を図示したものを掲示する。 ◎パンフレット ◇まとめや振り返りの参考になるように、生徒から出た感想を板書する。 ◎タブレット端末、TV ◇既習のプリントで修飾と被修飾の関係や形容詞等の語句について振り返る時間を設定する。 ◇B が間違える不安感を減らし、質問内容にじっくり向き合えるように、個別に考える時間を設定する。 ◆友達のパンフレットから、修飾と被修飾の関係や観光地等の特徴を表す形容詞などの語句を読み取って発表したり、他の語句を使った表現の仕方を考えたりしている。(知・技・思・判・表／発表の様子)

12	S:「歯ごたえのある」があった方がいいかな。 T:「歯ごたえのある」があった方が、より具体的に讃岐うどんの麺のイメージができます。ちなみに「歯ごたえ」の代わりに「うどん」を飾るなら、どんな言葉があるかな？ C: もちもちかな。 T: それでは、次は友達コラボのページで「かざり言葉」を見付けていきましょう。 ※①～③の活動を（友達コラボ編）で2回繰り返す。 （4）振り返りをする。 T: 学習課題を振り返りましょう。これまでの活動で、おもしろいパンフレットになった理由をたくさん出すことができました。どんなものがあるかな。 S:「歯ごたえのある」で、一度讃岐うどんが食べてみたくなりました。 T: そうですね。この「かざり言葉」で一層うどんが食べたくなりました。他にありますか。 S:「自由すぎる」とか？ T: そうですね。この「かざり言葉」もおもしろく、気になる表現です。さあここで学習課題の答えを考えましょう。パンフレットがおもしろい秘密はなんでしょう。 S: いろいろな「かざり言葉」を使っていることです。 T:「かざり言葉」を使うときは、適当に使っていますか。 S: いいえ。工夫しています。 T: このパンフレットを見れば、工夫していたことが分かりますよね。つまり「かざり言葉」の工夫が大切になってきますね。	◇いろいろな語句を積極的に活用することができるように、「気持ちを表す言葉」や「状態を表す言葉」などの形容詞等の語句をまとめたプリントを見るように促す。
	「かざり言葉」の工夫がおもしろい文章につながっている！ T: 皆さんが今挙げた「かざり言葉」の工夫は、Aさんが伝えたかったことをしっかり読み取っています。 今回の学習を通して、「かざり言葉」を見付けたり、考えたりすることがとても上手になりました。次がこの単元の最後の授業です。文章作りで大切なことを振り返りましょう。	◇振り返りやまとめを次時で思い出すことができるように、板書を写真に撮り、次時の導入で渡すようにする。

【教師の評価】

- ・観光地等を紹介する文において、修飾と被修飾の関係や観光地等の特徴を表す形容詞を読み取ったり、他の語句を使った表現の仕方を考えたりするための手立ては適切だったか。